

《平成20年度》

(株)ダイエイ(福井県越前市)

【事業名】 難処理廃プラスチック類リサイクル事業

【事業の背景】 近年、リサイクルへの関心の高まりと共に廃プラスチック類のリサイクル用途が拡大している。主なものは、熱源となる RPF やそのまま燃焼させるサーマルリサイクルで、近年では一定の条件を満たした廃プラスチック類を玩具や電子部品に再利用するマテリアルリサイクルも目立つようになってきている。しかし、中には排出事業者のセキュリティ要求や処分業者の受入制限などにより、必ずしも理想的なリサイクルがなされているわけではない。本事業はこうした課題を解決し、廃棄物処理法の趣旨に沿った高度なリサイクルの一躍を担うものだと考えている。

【事業の内容】 今回主に対象としているのは、表面に乾燥した汚泥状の物質が付着した廃プラスチック類である。廃プラスチック類とはいえ、プラスチックとしての価値を有しており、これを受け入れ、表面に付着した汚泥状の物質を乾式洗浄加工することで、プラスチックと汚泥状の物質とを分離し、プラスチックを繊維製品の原料として売却するというモデルである。

今回の計画では、年間 3,000～5,000 t の廃プラスチック類を処理する計画である。これにより地域の廃棄物は再生原料として生まれ変わり、廃棄物が減量し、更に廃棄物で原料が賄われるという二重の大きな効果が期待できる。《高度技術施設》